

MOFA 外務省 海外安全ホームページ

| 外務省 海外安全ホームページを使いこなそう

キーワード検索: [トップページ](#) [渡航情報を調べる](#)[海外安全お役立ち情報](#)[海外安全相談センター](#)

イラク

Iraq

エリアを選択してください

▼イラク

[スポット情報・危険情報](#)[安全対策基礎データ](#)[テロ概要](#)[在外公館アドレス](#)

※ 本情報は、海外に渡航・滞在される方が自分自身の判断で安全を確保するための参考情報です。本情報が発出されていないからといって、安全が保証されるというものではありません。

※ 本情報は、法令上の強制力をもって、個人の渡航や旅行会社による主催旅行を禁止したり、退避を命令するものでもありません。

※ 海外では「自分の身は自分で守る」との心構えをもって、渡航・滞在の目的に合わせた情報収集や安全対策に努めてください。

【感染症関連情報】

[【感染症関連情報】はこちら](#)

感染症関連情報が発出されている場合があります。

[▲TOP](#)

【最新スポット情報】

[【危険情報】はこちら](#)[イラク: 治安情勢\(2008/05/29\)](#)[イラク: 治安情勢\(2008/05/15\)](#)[イラク: 治安情勢\(2008/05/09\)](#)[イラク: 治安情勢\(2008/05/01\)](#)[イラク: 治安情勢\(2008/04/24\)](#)[→スポット情報一覧](#)[▲TOP](#)

【危険情報】

[イラク: 危険情報\(2008/07/11\)](#)[【最新スポット情報】はこちら](#)[【感染症関連情報】はこちら](#)

本情報は2008/07/11現在有効です。

イラクに対する渡航情報(危険情報)の発出(2008/07/09)

- クルド地域を除くイラク全土
:「退避を勧告します。渡航は延期してください。」(継続)
- クルド地域(エルビル県、スレイマニア県及びドホーク県)
:「渡航の延期をお勧めします。」(継続)

地図1

☆詳細については、下記の内容をよくお読みください。

<最近のイラク治安情勢>

1. 報道によれば、最近イラクで発生した主な事件は以下のとおりです。

(1) 6月24日

(イ) バグダッド東部のサドル・シティーで、地区評議会の建物内で爆弾が爆発し、視察のために訪れていた米国務省職員や米軍兵士を含む10人が死亡、10人が負傷しました。

(ロ) 北部ニナワ県モースルで自動車爆弾が爆発し、民間人少なくとも90人が負傷しました。

(2) 6月25日

バグダッドのカッラーダ地区で自動車爆弾が爆発し、3人が死亡、7人が負傷しました。

(3) 6月26日

(イ) 北部ニナワ県モースルで自動車爆弾が爆発し、18人が死亡、80人が負傷しました。

(ロ) 西部アンバール県ファルージャ近郊で、地元部族長らが会合を開いていた地区庁舎に男が侵入して自爆し、部族長ら20人が死亡、12人が負傷しました。

(4) 6月29日

中部サラーハッディーン県ドゥルューイーヤで、路上に放置された自動車があるとの通報を受け確認に向いた警察官が同車に近づいたところ爆発し、警察官少なくとも7人が死亡、2人が負傷しました。

(5) 6月30日

バグダッドのシーア派教徒が多い地区の計4か所で、裁判官をねらった爆弾の爆発が相次いで発生し、3人が負傷しました。

(6) 7月1日

北部ニナワ県モースルで、スンニー派族長の自宅近くに仕掛けられたトラック爆弾が爆発し、1人が死亡、25人が負傷しました。

(7) 7月3日

バグダッドのヤルムーク病院の近くで自動車爆弾が爆発し、4人が死亡、10人が負傷しました。

(8) 7月6日

バグダッド北東部のシャープ地区にある市場付近で、警察のパトロール隊をねらった自動車爆弾による攻撃があり、少なくとも6人が死亡、警察官3人を含む14人が負傷しました。

(9) 7月7日

北部ニナワ県モースル付近で、道路脇の爆弾が爆発し、請負業者4人が死亡、8人が負傷しました。

2. イラクでは、4月のバグダッド東部サドル・シティーでの米軍・イラク軍と民兵組織「マハディー軍」との衝突はおおむね沈静化した模様ですが、上記のとおり、現在もバグダッドを中心に自動車爆弾を使用したテロ事件や自爆テロ事件が継続的に発生しており、引き続き警戒が必要です。

3. つきましては、クルド地域以外のイラク各地域に渡航することはどのような目的であれ絶対に見合わせることを強く勧告します。また、クルド地域以外の地域に滞在されている方は、最新の情報の入手に努め、十分な警

備措置を講じた上で同地域から直ちに退避されることを改めて強く勧告します。

(※これまで、最近のイラク治安情勢と注意事項については「スポット情報、イラク：治安情勢」として定期的に情報提供してきましたが、今後は、基本的には上記のとおり、危険情報の冒頭部分に掲載することとします。)

<本文>

1. 概況

- (1)イラク国内においては、地域により脅威の度合いは異なるものの、治安組織や米軍を始めとする駐留多国籍軍、民間人等に対する攻撃や爆弾テロ、宗派対立に伴う攻撃等が日常的に発生しています。2007年夏以降、首都バグダッド等において治安情勢は落ち着きつつありますが、依然として厳しい情勢が継続しています。一方、北部のクルド地域においては、情勢は比較的安定しています。
- (2)アル・カーイダ関係者によるものとみられる過去の声明等の中には、攻撃対象として日本に言及したものもみられます。日本人を含む外国人を標的とする襲撃・誘拐等が発生する可能性は今後も排除されません。
- (3)なお、イラク治安当局の体制が発展途上にあることに加え、在イラク日本国大使館による邦人保護業務も治安情勢、通信、移動の制約等から極めて困難な状況にあります。

2. 地域情勢

- (1)クルド地域を除くイラク全土
：「退避を勧告します。渡航は延期してください。」
 - (イ)イラク(クルド地域を除く全土)では、2003年夏の治安情勢の悪化以降、米軍を始めとする駐留多国籍軍・イラク治安部隊と武装勢力との衝突、ロケット弾や迫撃砲による攻撃、米軍・イラク治安部隊、政治家・政府幹部などの要人、報道関係者、NGO関係者、外交団、民間人及びこれら関連施設を標的としたテロ(自動車爆弾や自爆攻撃等によるテロ)や誘拐事件が多発し、さらに、2006年2月のサーマッラーのシーア派聖廟爆破事件以降は宗派間の衝突が激化しました。
 - (ロ)2007年夏以降は、米軍増派の完了、シーア派民兵組織「マハディー軍」による武装抵抗活動の停止宣言、米軍の支援を受けた「覚醒評議会」(スンニー派中心の治安組織)による反アル・カーイダ闘争等の要因によって、治安情勢は2007年夏以前との比較では、全体として落ち着きつつあります。こうした中、多国籍軍からイラク政府に対する治安権限の移譲が進んでおり、既に、イラク18県中、クルド3県(エルビル県、スレイマニヤ県及びドホーク県)、南部5県(ムサンナー県、ズィーカール県、ナジャフ県、ミーサーン県、バスラ県)及び中部カルバラ県の計9県で、治安権限がイラク側に移譲されています。
 - (ハ)しかしながら、現在も、首都バグダッド、クルド地域の南側に隣接するディヤラ県、タミーム県、ニナワ県等において、治安組織や米軍を始めとする駐留多国籍軍等に対する攻撃や爆弾テロ、治安部隊による掃討作戦、宗派対立に伴う攻撃等が発生するなど、引き続き厳しい治安情勢が依然継続しています。バグダッドでは、2008年2月1日の同市中心部と南東部の市場で発生した自爆テロ事件(99人死亡)、3月6日の中心部カッターダ地区での爆弾・自爆テロ事件(68人死亡)等、大規模なテロ事件が発生しています。
- (二)2008年3月25日に南部バスラで始まったシーア派民兵組織「マハデ

「シー軍」とイラク治安部隊の衝突は、多数の死傷者を出した後、シーア派指導者による声明の発出等もあり沈静化しました。しかし、その後もバグダッド市内を含め、依然として衝突が発生しています。また、3月下旬には、バグダッド中心部のインターナショナル・ゾーン（多国籍軍管理地域）に対するゾーン外からの迫撃砲等による攻撃も頻繁に発生しました。

(ホ) 誘拐の脅威に対しても、引き続き注意が必要です。イラク国内では、特に2003年以降、イラク人、外国人を問わず、ジャーナリスト、NGO、労働者等様々な民間人が被害者となる誘拐事件が発生してきました。外国人に対する誘拐事件の件数は減少傾向にあります。しかし、最近でも、2007年2月のイラン外交官誘拐事件、同月のドイツ人母子誘拐事件、5月のイラク財務省（バグダッド）での英国人5人誘拐事件、2008年2月のバスラでの英国人ジャーナリスト誘拐事件（解放済）等が発生しています。

(ヘ) イラクでは、これまで複数の日本人がテロや誘拐事件に遭遇しています（2003年11月のティクリート近郊での外交官殺害事件（2人）、2004年4月のファッルージャ近郊での日本人人質事件（2件、それぞれ3人及び2人）、同年5月のバグダッド郊外での日本人ジャーナリスト襲撃・殺害事件（2人）、同年10月の日本人旅行者人質・殺害事件、2005年5月の日本人襲撃事件）。2006年以降、イラク国内で日本人が被害に遭う事件は発生していませんが、今後ともテロ・誘拐に日本人が巻き込まれる可能性のみならず、日本人や日本の関連施設がテロや誘拐事件の直接の標的とされる可能性は排除されません。

つきましては、下記（2）を除くイラク全土に滞在されているすべての日本人の方々に対し、十分な警備措置を講じた上で直ちに国外へ退避されるよう改めて勧告します。また、目的のいかんを問わずこれら地域への渡航は延期してください。

（2）クルド地域（エルビル県、スレイマニア県及びドホーク県）

：「渡航の延期をお勧めします。」

（イ）クルド地域政府（KRG）は、域内に数多くの検問所を設け、来訪者の入域を厳しくチェックするなどして、地域内の治安維持に努めています。イラク国内の他地域とは異なりテロ事件の発生が限定的（注）であるなど、情勢は比較的安定しています。

（注）2007年5月、エルビルのKRG内務省付近での自爆テロ事件（19人死亡）、2008年3月、スレイマニア市中心部のホテルでの車両爆弾による爆弾テロ事件（1人死亡、31人負傷）

（ロ）ただし、テロの頻発するイラク中部（クルド地域に隣接するタミーム県キルクーク市、ニナワ県モースル市も含まれます。）に隣接していること、トルコとの国境付近にあるPKK（クルド労働者党）の拠点に対するトルコ軍の攻撃が行われ、多数の死傷者が出ていること、さらには、イラク全体の情勢が流動的であることから、引き続き、どのような目的であれ渡航を延期するようお勧めします。

なお、やむを得ず同地域に渡航される方は、十分な安全対策をとるほか、誤ってイラク中部に誤って近づくことのないよう、現地事情に詳しいガイド等を雇用するようにしてください。

（問い合わせ先）

○外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐に関する問い合わせを除く）

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）5139

- 外務省領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐に関する問い合わせ)
住所: 東京都千代田区霞が関2-2-1
電話: (代表)03-3580-3311(内線)3399
- 外務省海外安全相談センター
住所: 東京都千代田区霞が関2-2-1
電話: (代表)03-3580-3311(内線)2902
- 外務省 海外安全ホームページ: <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
<http://www.anzen.mofa.go.jp/i/> (携帯版)
- 在イラク日本国大使館
電話: (873-761) 213234(衛星回線)
FAX: (873-761) 213235(衛星回線)

[▲TOP](#)

[【広域情報】はこちら](#)

[【安全対策基礎データ】はこちら](#)

[【テロ概要】はこちら](#)

Copyright:2008 The Ministry of Foreign Affi